2550

宇都宮ロータリークラブ会報

意識を喚起し 一 進んで行動を　心のこもった奉仕を目指そう

2000～2001年度　R.I.会長　フランクJ・デブリン
第2550地区ガバナー　半　田　久　一
2000～2001年度　会　長　齋　藤　一　郎
2000～2001年度　幹　事　河　上　靖　夫

■例会日　金曜日12時30分より　■例会場　宇都宮ロイヤルホテル　宇都宮市江野町11-16
■事務所　宇都宮ロイヤルホテル 530号室　TEL 028-632-0530　FAX 028-632-0560

(2001) 平成13年1月26日　No.2441回　２０００～２００１年度（第27回会報）

会員数　139名　　出席者　81名　　出席率　75.7%　　前回修正出席率　79.4%

ＭＵ：上野泰男様、真下　進様、吉田一久様
篠崎昌平様

ビジター紹介（石下和毅親睦活動委員長）

銅谷志朗様（卓話講師）、五十嵐薫様（宇都宮南）

マルチプルポールハリスフェローについて
（北村光弘副会長）

齋藤年度初めて、齋藤会長の代理をさせていただきます。齋藤会長がマルチプルポールハリスフェローをいただきました。ロータリー日本サービスセンターより知らせがありました。“この度、ロータリー財団管理委員会に替わり、感謝を込めて、イチロウサイトウ様にマルチプルポールハリスフェローをお贈り致します。……”

幹事報告（川上靖夫幹事）

RI第2550地区第3分区IMのお知らせでございます。全員が登録しております。1月28日、宇都宮グランドホテルで、4時半登録開始、5時閉会です。この日は特別講演「21世紀　日本への提言」講師金美齢先生、がございます。また、7時から懇親会があります。ふるって、ご参加下さい。

ロータリー情報委員会（篠崎昌平委員長）

本日レターボックスに新入会員の「入会手続」についてのコピーを入れておきました。ご覧下さい。最近推薦者の役割そのものが曖昧になっている感じもしますので、あらためて入会者の手続についてご説明させていただきます。クラブ細則の第11条会員選挙の方法ということで、手続要覧にも載っております。

- 推薦者は2名必要。特別な定めのある場合を除き、事前に会員に漏らしてはならない。
- 理事会は、推薦状の提出日より30日以内に承認、不承認を内定し、推薦者に通知する。
- 情報委員会は、会員候補者に対し、オリエンテーションを行う。
- オリエンテーションの後、会員候補者に対し、会員申込用紙に署名を求め、本人の氏名及び本人の職業分類をクラブ員全員に発表することの承認を求める。
- 発表後7日以内にクラブ会員から異議の申立てのなかった場合、入会金の納入を以ってクラブ会員に選ばれたものとみなされる。

なお、入会式で、ロータリー情報委員会は、新会員がクラブに溶け込めるよう、推薦者の一人または会員の一人を1年間のカウンセラーを選ぶものとする。

特に推薦者の一人は、その自覚を持っていただきたいのです。また、最後になりますが、クラブフォーラムを行うことになっております。今期も半期を過ぎましたので、四大奉仕の委員長さんにお願い致します。面白い企画をたてていただき、数多くの支店長さん、新入会員の皆様にご参加をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ニコニコBOX委員会（宮本隆昌委員長）

誕生祝：土谷信夫様、中田敏良様

川崎忠茂様：1月末日で営業所長を解任。宇都宮ロータリーを本日付で退会させていただきます。長い間ありがとうございました。

プログラム紹介（横堀晃夫会員）

今日お招きした銅谷志朗さんは、元テレビ朝日のキャスターをしていて、特にスポーツの格闘技を中心に出演しています。皆様おなじみの「大相撲ダイジェスト」担当をしていましたが、現在はフリーで、ボクシング番組等スカイスポーツで定期的に出演しています。

私がプロボクシング協会の顧問をしていて銅谷志朗さんと知り合い、娘の結婚式の司会もお願いするなど、お付合をしております。今日は、大相撲の裏話ということで面白いお話が聞けると思います。

卓　話「大相撲おもしろ舞台裏」　　銅谷　志朗様

御紹介のありました銅谷志朗でございます。平成3年5月にテレビ朝日をやめて、フリーになりました。今日は25分で話すということで、早速始めます。相撲というと体が大きいということで、皆様目に浮かぶと思います。小錦というと、もう引退しましたが、女の人のウエスト60cm、バストが1ｍありますが（大きい女性）、小錦の腕が60cm、太腿1ｍあります。小錦のパンツを私がはくと、片方の足に、私が入ってしまうということになります。だから、対戦相手に言わせると、畳が起き上って、ばっと出て来るようだと。そして手で突っぱられると、足で蹴られるようだと言います。一番小さい舞ノ海でもはかったら腕が43cmあります。私が25cmです。これほど大小体重制限がなくて、戦うのが相撲です。あれだけの体重がぶつかるのですから、1トン位の衝撃があります。曙に“喉輪”でやられると、一般の人は死にます。頸椎が恐らく骨折するでしょう。恐らく、土俵の向側にスッ飛んでしまいます。その位威力があります。昔から“喧嘩をするなら相撲取りに喧嘩を売るな”という格言がある位相撲取りは強いんですね。お腹などブヨンブヨンみたいですけど、ぐっと力を入れると鋼鉄のようになるんですね。筋肉なん

卓話予定

2月 9日　「私の歩んだ道（視覚障害者として）」
宇都宮ライトセンター所長　蓼沼博夫様

です。こういう格闘技ですね。この相撲で、ファンによく聞かれるのが、“お相撲さんは食べるんでしょうね。”ということです。お相撲さんは食べますね。栃木県という所は、栃木山の出た所で、宇都宮で4月19日に巡業がありますけど、この栃というのは栃木山、栃木県の栃です。だから春日ノ部屋の力士は栃木山の栃をもらって、栃錦といい、それが尾を引いて、その流れで、栃東もそうです。あそこは春日ノ部屋から分家した所で、玉井部屋といいます。栃木県は今はそんなに強い力士は居ませんが相撲県であるのです。私達が放送していて肝心なのは立ち合です。立ち合で、「後の先」といいますが、これは双葉山がやった立ち合で、人より遅れて立ち上って、早くぶつかる。これが出来るのは、最近では、九重親方（千代の富士）です。相手が立って伸びた所に、下から早くぶつかる。なかなか難しいことです。

今日は「おもしろ舞台裏」ということですから、まずお相撲さんの食べることを話します。どの位食べるか。お相撲を連れて飲みにいったり食べにいったりするのはだめです。100万円はかかります。鮨なんかダメですよ。普通の人は食べる人でも22個なのに、100個食べるんですから。部屋でタニマチを呼んで食べると、懸賞金かけるとだいたい、200個は食べるんですから。肉食べるんでも、しゃぶしゃぶはダメ、あんなものいくらでも入っちゃうんです。ステーキもダメ、普通の人は200ｇ、食べる人で400ｇです。あの北の湖さんが現役時代、厚さ3㎝、長さ25㎝のステーキを、1枚目ゴッツアンですとたいらげ、2枚目も食いらげ、3枚目はやや考えて食べた。半分残したけども。あとで聞いたら1枚2kg。だから5kg食べたわけです。一番いいのは、焼肉です。皆さんは食べる人で3人前です。一番食べる人は、今は親方になっていますが、高三杉という歌のうまい力士で、ドラエモンという綽名のあった力士です。この人が一人で65人前食べたという記録をもっています。その時後援会の人が、もうダメかと聞いたら、お腹は大丈夫だけれども顎が疲れた、と言ったそうです。あの人の胃はどうなっているかというと藻状胃といって直接腸に入ってしまう胃ですから。その後2次会へ行きます。飲めない人も居ますが、例えば、安芸ノ島はウーロン茶で付合います。貴ノ花もあまり飲めません。普通の力士は、飲めない人といってもボトル1本飲みますから。チョット飲む人で、ボトル3本。記録もっている人は元大関の貴ノ浪で、12本飲んだというので確かめに行きました“そんなに飲めるはずないでしょう。7、8本ですよ”と言ったから、7、8本は飲んだことがあるのです。ヘネシーやナポレオンなら大変ですよ。その後の付合いもあります。大関や横綱ならお車代といって10万、20万を渡さねばならない。また付人にだって5万は渡さねば良い顔をしない。だから身上をつぶした人がいます。輪島のタニマチで有馬稲子さんの夫で、名前は言えませんが、輪島が優勝した時紙つつみを花籠親方のおかみさんに、持って来た。ビール券と思って、箪笥にしまって置いた。それを千秋楽の打上げの日に、酒屋に持っていって変えてこさせようとしたら、1,000万円が入っていた。その後です。新聞に出ました。乱脈経理で倒産、その後有馬稲子と離婚。一番いいのは後援会に入ることです。会費は年間10万～20万です。後援会に入ると、番付を送ってくる。冬にはカレンダーを送って来る。夏はゆかた地を送ってくる。東京の人は、稽古をただで見られること、その後ちゃんこを食べられる。ただ後援会に入るのは、取りづらい切符を取ってくれるのです。皆さん、相撲を見にいった人いますか。大分いますね。一番高い所で、一人11,300円、4人で45,000円程です。それでは買えません。あれはセット料金になっていて、飲み食いが1万円、それにお土産が7,000円～2万円程で合計13万程になる。しかし13万では買えない。良い席はなかなか取れない。取ってもらうにはご祝儀が必要になる。それが5千円から1万円、何人かの人の手を経てだいたいトータルで17、18万になります。これ以上は、ダフ屋の介在となります。良い席は、一部上場企業などが押さえていて、なかなか手に入らない。なかには儲けている人もいる。今日は講演会ですから一つお話して置きたいことがあります。

あの二子山親方の弟子の育て方の基本は、「誰でも、新弟子検査に受かった人は、関脇まではいけるだろう。なれないのは、努力が不足しているからだ。指導は平等にみるよ。」という。素質があっても、努力していけない人は、皆やめていく人がいる。関脇までは、努力すればいける。努力してもいけない人は努力する所が違う。じゃ、大関になるためには、努力だけではいかない。智ノ花や舞ノ海をみていれば分る。

やっぱり、体が小さい。どんなに技を勉強しても、どんなに努力しても、どんなに良い筋肉をしていても、体力が無いという決定的な弱点がある。勿論、努力がなければそこまでいかない。努力に努力を重ねて、素質に華が開き、やっと大関になる。では大関で止まる力士と横綱になる力士はどこが違うのか。努力が基本にあって素質に華が開いて、その上で横綱になる人は運がある。ただ待っているだけでは、運はつかめない。横綱になる人は、運を自分の方にぐいっと引き寄せるだけの何かがある。千代ノ富士を例にとると、まずプラス思考で、頭の切り替が速い。喜怒哀楽はけっこう激しいが、頭の切り替が速い。目標設定が必ず出来ている。夢でなく実現できる目標設定である。目標をクリアしたら、次の目標が出来ている。その積上げがあの大記録を作った。そういうように横綱は非凡なものを持っている。共通点は明るい。明るい人の廻りには人が集まってくる。従って、それだけ情報が集まってくる。やっぱり、商売で言えば、儲け話も集まってくる。というように、横綱は良い運をぐっと自分の方に引張ってくるだけの、そういうものがある。運を自分の方に引張ってこられるような人になろう。明るく、積極的にプラス思考で、目標設定をきちっとしてやっていただこうと申し上げております。

さて、最後になります。何か質問ありますか。一番質問の多い「八百長」について触れておきます。週間ポストを読み過ぎの方。特に外人記者クラブで、板井が、あんなことを言ってしまったから。この質問に答えるのは立場上、私は一番困るんです。だけど、相撲には隠語がある。ガチンゴー真剣勝負、注射または注射を打つー八百長または頼みに行くこと。こういう隠語がある。しかし、私はその現場を一度も見たことはない。ただ、相撲の世界をそんな目で見たら、これほどつまらないものはない。素人が見ても分からない。協会も、7勝7敗どうしを当てるようにしている。この頃の相撲はケガも多くなっている。体も大きくなっている。その点スピード感が無くなっている。最近曙が引退し、小錦も止めたし、多少変ってくる。今年から若手がでてきて、面白くなると思う。若手の筆頭は、隆ノ若、若ノ里、栃東、琴光喜、栃の洋、モンゴル勢で有望な力士が多数出てきている。

今日は、お聞きいただきましてありがとうございます。また別の場所でお呼び下さい。1時間半話したいですね。ありがとうございました。